

令和7年度 真室川町立歴史民俗資料館企画展

中川木鈴の世界

木鈴 MOKUREI × HIROSHIGE 広重

令和7年
10/5
①
11/30
②

9:00~16:30
(最終入館16:00)



中川木鈴

主催：真室川町立歴史民俗資料館
〒999-5312 最上郡真室川町大字新町233-1 TEL/FAX.0233-62-3511
協力：広重美術館〈天童市〉・〈公財〉アダチ伝統木版画技術保存財団〈東京都〉

真室川町立歴史民俗資料館
休館日：月曜日及び祝祭日の翌日、月末日（日曜日の時はその前日）
（10/6、14、20、27、31、11/4、10、17、25、29）
入場料／無料

中川 木鈴（なかがわ もくれい）

大正8年、山形県真室川町に生まれる。東京美術学校にて片岡美登に版画、田辺至に洋画を学ぶ。昭和30年、日本伝統版画製作技術（木版彫刻）が東京都無形文化財に指定される。昭和37年、日府春季展で奨励賞を受賞し、同年より雅号を「本身」から「木鈴」へ改める。昭和39年には社団法人日本画府常任理事に推挙され、日本画壇の発展に尽力した。昭和54年、旧制第五高等学校「赤レンガ」完成の年に逝去。

以後、真室川町立歴史民俗資料館に作品が収蔵され、追想展や「木鈴賞」によって業績が顕彰されている。

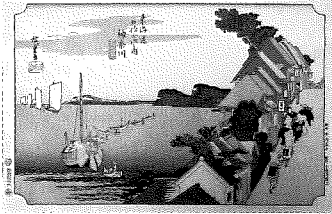
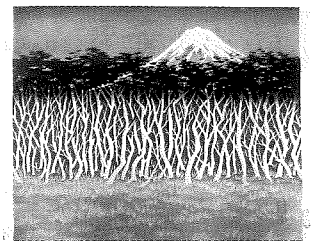
〜
広重
を彫る
〜

令和7年度 真室川町立歴史民俗資料館企画展

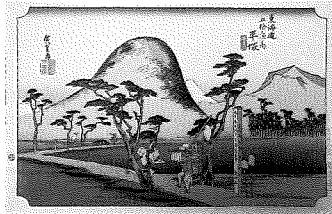
中川木鈴の世界

～広重を彫る～

歌川(安藤)広重の浮世絵「東海道五十三次」を、独自の感性と技術で現代に甦らせた中川木鈴。本展では木鈴の代表作品と、手掛けた復刻版画15点を広重の原作と並べて展示します。江戸と昭和、時代を超えた二つの輝きが、令和の舞台で競演します。



4 神奈川



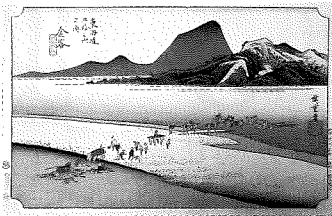
8 平塚



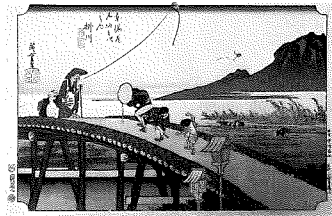
17 由井 (広重原画展示)



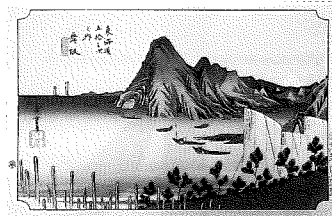
22 岡部



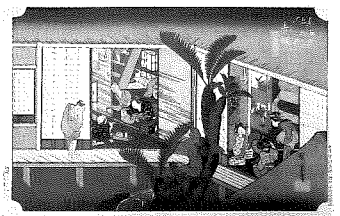
25 金谷



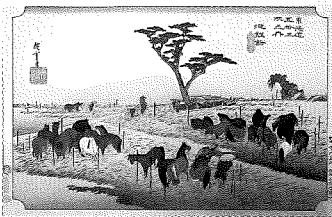
27 掛川



31 舞坂



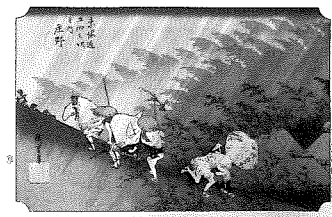
37 赤坂



40 池鯉鮒 (広重原画展示)



45 石薬師 (広重原画展示)



46 庄野



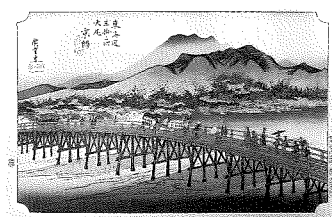
48 関



51 水口



52 石部



55 京都



↑ 広重の原画の展示日は、この二次元バーコードからアクセスし確認してください。

